

総代・総代会

❖ 総代会制度について

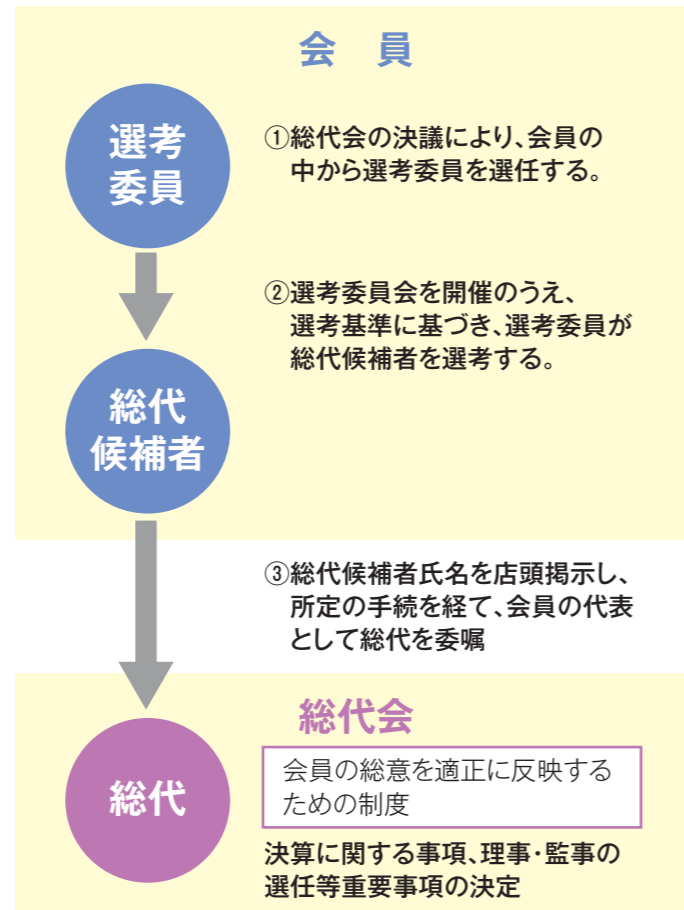
信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、総代構成のバランス等に配慮し、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

さらに、当金庫では、総代会に限定することなく、お客さま満足度調査を実施するなど日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

総代会は、会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です。



❖ 総代とその選任方法

1 総代の任期・定数

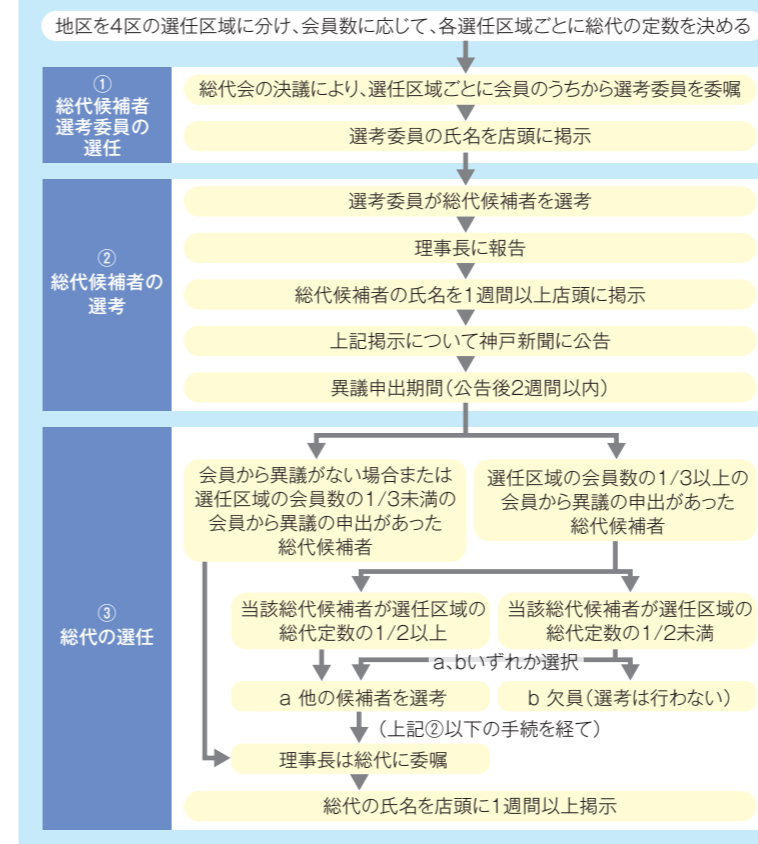
- 総代の任期は2年です。
 - 総代の定数は130人で、会員数に応じて各選任区域ごとに定めています。
- なお、令和5年6月末現在の総代数は129人で、会員数は41,646人です。

2 総代の選任方法

- 総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。そこで総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。
- ①総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
 - ②総代候補者選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選任する。
 - ③上記②により選考された総代候補者を会員が信任する(異議があれば申し立てる)。

総代候補者選考基準	
①資格要件	●当金庫の会員であること
②適格要件	●人格、識見に秀れ、良識をもって正しい判断ができる方 ●地域における信望が厚く、総代として相応しい方 ●金庫の理念・使命をよく理解し、金庫との緊密な取引関係を有し、金庫の発展に寄与できる方 ●80歳未満の方 ●その他総代選考委員会が適格と認めた方

【総代が選任されるまでの手続について】



❖ 第49期通常総代会の決議事項

令和5年6月20日開催の第49期通常総代会において、下記事項の報告の後、次の各議案が付議され、それぞれ原案どおり承認されました。

- ①報告事項
第49期(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件
- ②決議事項
第1号議案 剰余金処分案承認の件
第2号議案 会員の法定脱退(除名)の件
第3号議案 総代候補者選考委員12名選任の件
第4号議案 理事1名選任の件

❖ 総代の氏名 (令和5年6月末現在) ※氏名の後の数字は総代への就任回数

姫路市、たつの市、宍粟市、揖保郡及び神崎郡 (52人)																																																			
朝生大吉④	阿比野剛⑨	井上明久②	植田誠一郎②	大西健一⑩	大西雅之③	岡田兼明⑨	岡部泰典①	勝間功雄③	加藤勝洋⑥	金城裕満⑤	神崎文吾②	間鍋延一④	木津真人⑥	栗田浩②	合田博⑤	佐和吉敏⑪	澤田脩一⑨	重岡良則⑥	諏訪芳一⑫	羅川英毅③	高島真一郎⑪	立花充⑨	田寺宣文②	田中康則⑪	茶畑真一⑬	利安宏文②	永井敬裕⑬	中尾泰三⑤	永岡準司⑧	長澤靖明①	西村憲行①	服部晴明③	濱本博司⑧	早瀬竜太郎⑪	平野勝也⑨	福山一郎⑥	藤井邦彦①	藤木浩一⑨	藤橋拓志⑨	帽田泰輔⑤	本田明良⑧	本田真一郎⑤	松原康浩④	三木典子②	水田裕一郎③	水本雅史⑫	村角伸一⑩	矢野善人⑧	山野博也②	横田昌彦④	横野修三⑧
第2地区 赤穂市、相生市、赤穂郡及び佐用郡 (17人)																																																			
天野隆裕⑪	大木善夫⑫	小河清之⑤	小川寛①	奥藤利文①	司波尚俊⑨	重田博雄⑤	谷本学⑪	塚崎純⑤	寺田祐三⑪	西田欣泰④	前田邦稔②	松井勝彦⑤	湊信秀④	目木敏彦⑨	湯浅松樹⑥	横山弘介⑫																																			
第3地区 高砂市、加古川市、加西市、小野市及び加古郡 (10人)																																																			
太田久之④	大西俊二⑧	栗原直樹②	助永嘉伸⑤	仲上常幸⑨	濱中幹雄⑦	林藤雄④	蓬萊昭治②	圓山善輝⑨	横山喜幸⑦																																										
第4地区 明石市、三木市(旧美嚙郡吉川町を除く)、神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市、宝塚市及び三田市 (50人)																																																			
荒巻道洋③	安藤文久⑥	石坪浩一⑥	石原良樹⑦	上田耕司⑩	榎修滋⑨	大橋博⑭	大道公一②	岡澤和俊⑧	岡田和代⑨	奥田一弥⑩	乙守典厚⑫	小野純夫⑩	小野成伍⑩	春日秀樹⑫	木村康次郎⑦	小口壽一⑦	鈴木祐一⑤	須藤明彦④	角南忠昭⑮	高島武郎③	田上育宏②	武井宏之⑥	竹森莞爾⑨	塚本哲夫⑪	植橋悦次③	道満雅彦⑩	富永彰良⑩	中内仁⑥	中野宏一郎⑥	橋本和典⑤	平岡謙二④	藤秀満⑭	藤井栄蔵⑩	藤田勉⑨	藤田祐宏①	藤本雅也⑦	前田靖文⑭	丸山恵右⑫	水垣宏隆⑨	南修理⑥	本谷兼三⑮	安井和樹⑩	安田寛造②	安場賢志①	山口元⑦	尤昭福⑨	吉谷博光④	米田篤史③	脇坂安知⑦		

以上129人 50音順(敬称略)

❖ 総代の属性別構成比

- 職業別/法人役員126人(97.7%)、個人事業主3人(2.3%)
 - 年代別/70代以上55人(42.6%)、60代42人(32.6%)、50代28人(21.7%)、50代未満4人(3.1%)
 - 業種別/製造業32人(24.8%)、卸・小売業28人(21.7%)、建設業30人(23.3%)、サービス業11人(8.5%)、不動産業8人(6.2%)、その他20人(15.5%)
- ※法人役員の方は属されている法人の業種で分類しています。